

未来を拓く I T人材を目指して

滋賀大学経済学部企業経営学科 3 回生 松尾 匡浩

・情報処理の世界との出会い

私が I T分野に対して興味を持ち始めたのは、中学生の時でした。世界のあらゆるビジネスにおいて、情報管理は必要不可欠なことです。商業高校の情報処理科への進学は、情報化社会で活躍する為にと、考えた結果でした。

しかし、情報処理の知識だけでは限界があり、膨大な情報をビジネスに応用する為には、経済学、経営学、会計学などの多角的な視点が必要です。滋賀大学経済学部は、経済学の基礎を身に付けた上で、6つの学科を履修することが可能です。また、滋賀大学には専門コース制があり、自分の進路に合わせて選択することで各分野を体系的に学習を進めることができます。専門性を徹底的に鍛えることは、グローバルに活躍する為には必要で、この大学の学習システムは、それを実現するのに大変魅力的なものです。

・今後の目標

経済産業省データベーススペシャリスト試験に合格しましたが、その目的は、私の情報処理の専門性がどの程度のレベルかを測るための受験でした。現状に満足せず、これからも専門性を鍛えていきたいと思います。また、3年次からのゼミナールでは、財務諸表分析と企業価値評価についてや、英語などの語学力を徹底的に学習し、一般的な I T人材とは異なったアプローチで、今後の進路を考えています。最終的には、自分の培ってきた様々な専門性を活かして、「日本の I T業界をリードし、世界でイノベーションを起こせるような人材を目指す」、という自分の夢を、これからも真っ直ぐ目指していきます。